



浜厚真海浜公園の清掃事業報告

国際ロータリー第2510地区 社会奉仕委員会

委員長

石本 要

(倶知安RC)

さる6月11日の厚真町浜厚真海浜公園の清掃、その後場所を移して宮坂厚真町長による「復旧から復興へ 将来に向かって」と題しての講演会、担当者による「いままでの町の取り組み そしてロータリーの支援の検証」としてまちづくり推進課小山参事よりの報告会に対し、各地より120名を超える多くのロータリアンに駆けつけていただき、現地ボランティア、サーファーと合わせ170名余りの方々と一緒に汗を流していただきました。誠にありがとうございました。



又、その日の夕方の地震で厚真町は？ その近隣市町村は？ と心配なさったと思います。

この度の支援事業は、今回の清掃事業のみならず、5月の重機による流木撤去、8月6日に開催されます「厚真町長杯サーフィン大会」への協賛と、一連の事業となっています。海岸をきれいにし多くのサーファー、観光客に来町してもらい、町が元気になってもらいたいという趣旨です。

そこで改めまして8月のサーフィン大会へ是非のお越しをお願いします。声援、キッチンカーでの飲食、数々のイベント参加で一緒に盛り上げましょう。支援事業終了で被災地と絆が切れるのではなくずっとロータリアンと町がつながり続けたいと思っています。

ここで5年前の大震災から今日に至るまでの経緯を簡単に報告させていただきます。

2018年9月6日 胆振東部地震が発生し厚真・安平・むかわ各町を中心に甚大な被害となりました。その被害に対し当地区が窓口となり、国内はもとより台湾など各国・各地のロータリアンより約40,000,000円の支援金が寄せられました。発生後、社会奉仕委員会が中心となり、高山委員長（当時）を「災害対策委員会」委員長として立ち上げ、以下の災害支援の考え方を確認しました。

- ① 義捐金ではなく、支援金として→教育・福祉分野を第一に
- ② 地域とのつながりを重要視（対話と実行）→独りよがりにならない
- ③ 長期的・継続的な支援体制

5年に及ぶ支援活動は以下の通りです。（簡略報告となります）

安平町

- ・早来中学校の仮設校舎建設整備費用の一部として500万円寄付
- ・早来中学校仮設校舎 机・椅子寄贈
- ・早来中学校音楽室 エアコン設置
- ・仮設住宅談話室へのエアコン設置

むかわ町

- ・鶴川高校仮設学生寮建設・整備の一部として500万円
- ・仮設住宅へ網戸、談話室へエアコン設置
- ・むかわ中央小学校体育館トイレ改修工事（避難所になっている）

厚真町

- ・軽自動車2台寄贈（相談員移動のための）
- ・ランタン祭りへの協賛と各地RC会員によるバスツアー参加
- ・福祉仮設住宅 暖房便座設置
- ・仮設住宅4棟と談話室に41台のエアコン設置
- ・仮設住宅に45枚の網戸設置

以上の支援活動以外に、ハードからソフトへ、「笑顔を取り戻す」をテーマに、3町の学生を対象とした札幌交響楽団団員による楽器クリニック等企画しましたが新型コロナウイルス蔓延により中止となってしまいました。

尚、年内には被災3町への行ってきた数々の支援の支援事業報告書を作成し、各クラブへ提出させていただく予定となっております。

最後に宮坂厚真町長のコメント「決して我々は皆さん（RC）の支援を忘れません。そして皆さんも我々のこと（町のこと、地域のこと、そこで暮らす人々のこと）を忘れないでいただきたい。ずっとつながりを持ち続けたい」